

九州大学 博士課程教育リーディングプログラム
「分子システムデバイスコース」コース生募集要項
＜修士課程1年次対象 平成30年10月入コース＞

1. 分子システムデバイスコース

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え、広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くことを目的とした事業です。

本学の取組「分子システムデバイス国際研究リーダー養成および国際教育研究拠点形成」が同プログラムに採択され、修士課程・博士後期課程一貫型の「分子システムデバイスコース」を設置しました。

本コースでは、五年一貫教育を通じて、次世代の日本の科学技術の核となる「分子システムデバイス科学」を担う「科学を基礎とする確かな学理」と「豊かな感性」で考え抜けるリーダーの養成を目指しています。

2. 求める人材

本コースは、最先端分子系材料を基軸とする*分子システムデバイス科学の研究を通じて、新しい産業の勃興に繋がる次世代科学技術コアの形成を担うグローバルリーダーの養成を最終目的としています。

そのため、研究開発の専門性、研究に対する情熱、研究マネジメント力、イノベーションマインド、リーダーシップ及びコミュニケーション能力等、多くのスキルが求められます。

したがって、これらのスキルを確実に身に付けるため、基礎的学力はもとより、最後まで粘り強く学び続け、挫折してもあきらめず、何度も立ち上がり、考え抜く気概を持った学生を求めます。

分子システムデバイス科学とは

従来の化学系の学問領域と主にエレクトロニクス学問分野との融合により、分子機能とデバイス機能の繋がりを明確化し、分子機能のシステム化を目指し、個別の分子設計からデバイスとしてのシステム化を行い、さらには、デバイスの実社会における位置づけを明らかにしようとする学問領域のこと。

3. 出願資格

- ① 平成30年4月1日に入学し、10月1日に本学の次の学府・専攻の大学院修士課程1年次に在学する者。

工 学 府	物質創造工学専攻、材料物性工学専攻、 化学システム工学専攻、物質プロセス工学専攻 機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻
理 学 府	化学専攻
システム情報科学府	電気電子工学専攻

- ② 平成30年10月1日に本学の次の学府・専攻の大学院修士課程1年次へ入学予定の者。

工 学 府	物質創造工学専攻、材料物性工学専攻、 化学システム工学専攻、物質プロセス工学専攻 機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻
理 学 府	化学専攻

(出願に際しての注意事項)

- ・他のリーディング大学院プログラムへの併願は認めない。
- ・本コース生として採用後、国際コースに同時に籍を置くことはできない。
- ・本コース生として採用後、日本学術振興会（JSPS）特別研究員に応募し、採択された場合であっても原則として本コースに引き続き在籍することを確約すること。

4. コース履修開始日 平成30年10月（入コース認定日）

5. 募集人員 2名程度

6. 出願書類

- ① 「分子システムデバイスコース」コース出願書（様式1-1）
- ② 出願理由書（様式1-2）
- ③ 推薦書（様式1-3）

※出願者の専門性を熟知している方（指導教員など）からの推薦書を提出する。
推薦書は、注釈の指示に従って記入し、厳封したものを提出すること。

- ④ 英語資格試験スコア証明書（TOEIC または TOEFL）の写し

7. 英語資格試験について

TOEIC 公開テスト（日本又は韓国で実施されるもの）、または TOEFL iBT、
のいずれかを事前に受験しておくこと。

- ・スコア証明書は、顔写真付きのものとする。

- ・ TOEIC 及び TOEFL のスコア証明書は、平成 28 年 8 月 1 日以降のものとする。
- ・ 以下のスコアは認められない。

TOEIC IP、カレッジ TOEIC、TOEFL ITP などの団体受験制度
TOEIC Speaking and Writing、TOEIC Bridge

8. 出願書類受付等

①出願書類受付（持参又は郵送）

平成 30 年 7 月 4 日（水）午前 9 時から

平成 30 年 7 月 18 日（水）17 時まで（郵送の場合も上記の間に必着のこと）

②提出先

（持参の場合）

九州大学分子システムデバイス国際リーダー教育センター
リーディングプログラム支援室
伊都地区：ウエスト 2 号館 6 階 627 号室

（郵送の場合）

〒819-0395

福岡市西区元岡 7 4 4 番地 W2-627 号室

九州大学分子システムデバイス国際リーダー教育センター
リーディングプログラム支援室

※郵送の場合は、封筒の表に、「コース応募書類在中」と朱書きすること。

③注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合は受理できません。
- ・ 出願手続き後は、原則として記載事項の変更は認めません。
- ・ 出願時に提出された書類は返却しません。

④指導教員の本プログラムへの協力

本コース生の指導教員は、本プログラムにご協力いただく必要があります。具体的には、プログラムにかかる会議等への出席、研究室ローテーションへの協力、研究企画発表、分子システムデバイス演習（総合試験）、グループリサーチプロポーザル、分子システムデバイス講究等への出席ならびにインターンシップ先、海外研修先の選定などを行っていただく必要がありますので、出願者は、事前に必ず指導教員の了解を得ておいてください。

⑤個人情報の取扱いについて

出願時に提出された氏名、住所、その他個人情報については、「選抜審査（出

願処理)」、「選抜審査実施」、「合格発表」、「履修手続」等の業務、分子システムデバイスコースに関する業務を行うために利用します。

9. 選抜審査日 平成30年7月23日(月)

審査方法：出願書類に基づく個別面接審査
(詳細については、出願者へ別途連絡)

10. 審査結果発表日 平成30年7月24日(火)

なお、合否については、出願者各人に連絡するとともに、合格者のみ受験番号を九州大学分子システムデバイスコースのホームページに掲載します。

<http://molecular-device.kyushu-u.ac.jp/>

11. コース履修及び博士の学位

①コース履修について

現在在籍している学府・専攻に学籍を置いたまま、各学府・専攻内に設置されている「分子システムデバイスコース」の科目を履修することになります。

なお、修了要件、必修科目等については、各学府関係の教務担当係及びリーディングプログラム支援室に必ず確認してください。

②博士の学位

博士の学位取得については、各学府・専攻・コースの修了要件によります。

なお、博士の学位記には、博士課程教育リーディングプログラムの名称が、記載されます。

12. 経済支援について

本プログラムでは、希望者に対して所定の選考を経たうえで、奨励金を支給する制度を設けています。本奨励金は、学業及び研究に専念するために支給する、家計基準によらない給付型の経済支援です。

なお、奨励金を受給するにあたっては、下記のような受給要件があります。

- (1)プログラム学生として1年間継続的にプログラムを履修すること。
- (2)独立行政法人日本学術振興会の特別研究員(DC)として採用されていないこと。
- (3)独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていないこと。
- (4)国費留学生として日本政府(文部科学省)奨学金を受給していないこと。
- (5)留学生として独立行政法人日本学生支援機構の学習奨励費又は母国の奨学金を受給していないこと。
- (6)その他給付型又は貸与型の経費を受給していないこと。ただし、授業料援助を目的とする奨学金等として認めたものを除く。

(7)奨励金の受給期間中に就労により報酬を受給しないこと。
ただし、本プログラムの実施もしくは教育研究上必要不可欠なもの又は本プログラムに専念することを妨げないものとして、受給が認められる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

なお、研究拠点形成費等補助金（リーディング大学院構築事業費）による奨励金の支給は、平成30年度（平成31年3月）までです。

13. 問合せ先

九州大学分子システムデバイス国際リーダー教育センター
リーディングプログラム支援室

〒819-0395

福岡市西区元岡744番地 ウエスト2号館627号室

電話番号：(092)802-2916

E-Mail: office atmark molecular-device.kyushu-u.ac.jp

(atmark は@に読みかえてください。)